

平成27年度入学試験問題（後期）

小論文

（ 医学部保健学科 理学療法学専攻 ）

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙と下書き用紙を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題

ドイツの心理学者リンゲルマンは、綱引きに関するある実験を行った。綱引きを一人で頑張ったときに比べ、2人で引くと1人あたり93%の力しか発揮しておらず、3人で引くと1人あたり85%、8人で引くと49%しか力が発揮されなかった。これをリンゲルマン効果と呼んでいる。綱引きにかかわらず、様々な社会現象で同じような現象が見られるので「社会的手抜き」とも呼ばれている。

これは、「自分ひとりが手を抜いても大勢の中では影響がない、きっとどうにかなる」という心理の表れで、人間であれば誰しもが持っている。

こうした社会現象の例をひとつ挙げ、どのような対策を講じるべきか、あなたの考えを述べなさい。

(制限字数：800字)